

令和5年度 定期巡回随時対応型訪問介護看護 利用者推移表 ヘルパーステーションあい

介護度／対象年月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
平均介護度		2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4
総合計	計	56	55	56	58	58	57	55	58	60	55
	男	12	12	12	12	13	13	12	13	14	10
	女	44	43	44	46	44	44	43	45	46	45
		21.4%	21.8%	21.4%	20.7%	22.8%	22.8%	21.8%	22.4%	23.3%	18.2%
小計		78.6%	78.2%	78.6%	79.3%	77.2%	77.2%	78.2%	77.6%	76.7%	81.8%
同一建物内利用者(七福)		46	45	46	48	47	46	45	45	47	44
建物外利用者(地域提供)		10	10	11	11	11	11	10	13	13	11
中止者内訳				1		1	1				
看取り											
入所		3	1					2		1	2
その他					1	1					1
要介護1		13	12	12	13	12	11	11	12	14	15
小計		23.2%	21.8%	21.4%	22.4%	21.1%	19.3%	20.0%	20.7%	23.3%	27.3%
要介護2		17	17	18	18	19	19	18	21	20	18
小計		30.4%	30.9%	32.1%	31.0%	33.3%	33.3%	32.7%	36.2%	33.3%	32.7%
要介護3		17	18	18	18	18	18	18	17	17	14
小計		30.4%	32.7%	32.1%	31.0%	31.6%	31.6%	32.7%	29.3%	28.3%	25.5%
要介護4		7	6	6	7	7	6	6	6	7	8
小計		12.5%	10.9%	10.7%	12.1%	10.5%	10.5%	10.9%	10.3%	11.7%	14.5%
要介護5		2	2	2	2	2	3	2	2	2	0
小計		3.6%	3.6%	3.6%	3.4%	3.5%	5.3%	3.6%	3.4%	3.3%	0.0%

令和5年度 定期巡回随時対応型訪問介護看護 活動報告(令和6年1月時点)

定期巡回随時対応型訪問介護看護のご利用者数 55名

内訳) サービス付き高齢者向け住宅・七福内 ご利用者数 ⇒ 45名

在宅でのご利用者数 ⇒ 10名

七福の建物内のご利用状況について、定期巡回サービスのご利用状況は45名、従来型訪問介護8名、総合事業2名の方がそれぞれ当事業所のサービスをご利用されています。定期巡回サービスにおいては、2月に入り、新入居の方やサービス見直し等もあり、定期巡回のご利用者様が増えてきている傾向にあります。朝と夕の食事の時間帯、在宅のご利用者様とも時間が重なることが増えるため、今後も人手の確保が課題となっております。退院直後の方もおり、以前と比べて状態変化もあるので、人員配置も含めてサービス提供の見直しも進めております。

建物外のご利用者様ですが、昨年9月から新規で3名、中止で3名となっております。中止の理由ですが、自宅で看取り、施設等への転居が理由となっております。新規ご利用者の主な援助内容としては毎日の服薬、安否確認の他、食事の確保(買い物、調理、配膳)、排泄介助、デイサービス送り出し、掃除、洗濯等で、一日に1~4回の定期訪問、緊急のコールや体調不良等に合わせてヘルパーが随時対応を行っております。

～事例紹介～

・T様 男性 88歳 要介護4 (独居)

既往歴 ⇒ 心不全(ペースメーカー)、腎不全、高カリウム血

～サービス利用までの経過～

令和5年1月に転倒後に体動困難、四肢麻痺、頸椎損傷のため緊急入院、手術後にリハビリ目的で転院。病院側としては施設療養を勧めるもご本人様が自宅での生活を希望で5/20に退院、独居となるため、定期巡回随時対応型訪問介護看護のサービスを利用となりました。アパートの2階は階段のみ、階段途中の踊り場で休憩をしながら2階への昇降は可能。援助内容としては朝、昼、夕方の服薬の確認、腎不全のため減塩食等をお願いするも、食事に関してはご本人様の食事に対するこだわりは強く、ご本人様は拒否で、ご家族も同意の上で通常の食事提供となりました。

～利用後の経過～

退院後はほとんどベッド上での生活となりました。介助があればベッド上での端座位は可能なので、清拭の際は端座位になられていましたが、食事はベッド上でギャッチアップした状態で自己摂取、排泄介助については、ご自分でもパットは交換可能とのことでしたが、しっかりとパットを当てることができず、失禁が続きました。娘様が食事、洗濯、買い物、掃除を用意されるとのお話でしたが、ご本人様と娘様とケンカ等の理由で早い段階でご家族様が来ない中々来ない状況となり、身体面だけでなく、生活援助全般もヘルパーで行うこととなりました。食事に関しては冷蔵庫内にある分は後先考えずに食べてしまうため、ヘルパーでも提供数を制限しながら配膳等行っていましたが、所持金が少なく、買い物依頼の量は多く、物価の高騰も理解されず、「なぜこんなけしか買えないのか」とよくヘルパーに怒ることが多々ありました。調理の依頼も多ありますが、購入できる食材も限られており、食事準備に関しては買い物も含めてかなりの苦労がありました。ご本人様もヘルパーに慣れてくるにつれ、怒られることが徐々に減ってきてはおります。

失禁はあるものの、ご自分でパット交換されていたのも徐々になくなり、ベッド上でのかなりの失禁が目立つようになり、夜間帯(21時)オムツ交換のため訪問追加で対応、他、訪問入浴もケアマネジャーの数ヶ月に及ぶ説得もあり、12月に導入、食事については配食弁当も導入となっております(昼・夕食頼んでいましたが、ご本人様がいつの間にか一食になっていました)。

～課題～

失禁等の対応はヘルパーの訪問時間や回数を調整すれば対応はできるのですが、買い物をするにも、お金が少なく、誰が銀行等からお金を届けてくれるのか、というところで知人の方に依頼されていました。知人の方にも都合はあるので、ヘルパーの買い物日に合わせて届く訳ではないので、その少ない金額から食事だけでなく、オムツ類も購入しなければならず、買い物を行う際は、食事、生活用品(オムツ類)のどちらを優先すべきか、等苦勞することがありましたが、キーパーソンも別のご家族に変更になるなど、少しずつ動きは変わってきております。お一人暮らしの方の金銭管理に関して、どのような方法があるのでしょうか。

今回いただいたご意見

(往診クリニック、居宅介護支援事業所、いきいき支援センター)

- ・介護報酬改定について、現場から直接お話を聞いて参考になりました。
- ・色々な職種の方々と意見交換をすることで、それぞれの視点からいい案がもらえることが改めて分かりました。
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の不安や現状、令和6年度4月からの報酬改定など、様々な苦勞をされていることを改めて感じることができました。その中でも工夫しながら訪問されているのは大変ありがたいと改めて感謝しております。
- ・自治会長、民生員、訪問看護も欠席され、出席人数が少なかったです。他の出席予定の方も急遽当日キャンセルとなってしまう、せっかくの意見交換の場ですので、次回またお願いいたします。

訪問介護の倒産件数が過去最多と昨年ニュースでも聞き、さらに今回の報酬改定ではマイナス改定とのお話がありました。厳しい状況とは思いますが、在宅生活を支えていく上で必要なサービスの一つですので、頑張ってください。